

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

レビュー項目 (事業名)	効果的な説明会の実施による医師の地域偏在の是正 (臨床研修病院合同説明会)				部(局)	保健医療部				
					所管課	医務課				
					担当班	医療人材確保班				
					連絡先	078-362-3606				
開始年度	平成18年度	終了年度	—	関連計画等	医師確保計画					
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )				実施主体等	県				
事業目的	医師は、臨床研修終了後、当該研修で勤務した病院に就職する可能性が高いため、臨床研修の段階で県内の病院と医学生のマッチングを行う説明会を開催することで、県内医師の総数を確保するとともに、医師の地域偏在を是正する。									
事業概要	県内の各病院が説明ブースを設置し、県内外の医学生が各ブースにて個別相談を行う説明会を開催。									
これまでの改善状況	R2:新型コロナウイルス影響により中止 R3:新型コロナウイルスの影響により、オンライン開催 R4:対面開催。 R5:対面開催。参加者の増加により、前年度の会場が手狭となったため、会場規模の拡大及び病院ブースの増設を行った。									
業務フロー	①臨床研修病院の参加とりまとめ(2月～3月) ②全国医学部へ案内するとともに学生の参加とりまとめ(4月) ③会場内レイアウトの検討、説明会当日の全体運営(5月) ※ 臨床研修医と臨床研修病院とのマッチング(8月)									
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額		3年度決算額		4年度当初予算額		5年度当初予算額	
	事業費①		0千円		83千円		600千円		600千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他	0千円		83千円		600千円		600千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)	(0千円)		(83千円)		(600千円)		(600千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		600千円		600千円		600千円		600千円	
	執行率((①/②)×100)		0.0%		13.8%		100.0%		100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人
		830千円		874千円		862千円		862千円		
職員給与費	a	719千円		761千円		751千円		750千円		
賞与引当金繰入額	b	58千円		58千円		58千円		57千円		
退職手当引当金繰入額	c	53千円		55千円		53千円		55千円		
総コスト(①+③)		830千円		957千円		1,462千円		1,462千円		

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
評価	成果指標(アウトカム指標①) 人口10万人あたり医師数(県全体) ※目標は国の隔年調査(R3.12)の全国平均	目標	256.6	256.6	256.6	256.6	256.6
		実績(見込)	266.1	266.1	266.1	266.1	【各年度】
		(単位当たりコスト)	(3千円)	(4千円)	(5千円)	(5千円)	
		達成率(見込)	103.7%	103.7%	(103.7%)	(103.7%)	
評価	成果指標(アウトカム指標②) 人口10万人当たり医師数 (医師確保対策重点推進圏域(北播磨、播磨姫路、但馬、丹波、淡路))	目標	266.1	266.1	266.1	266.1	266.1
		実績(見込)	228.7	228.7	228.7	228.7	【各年度】
		(単位当たりコスト)	(4千円)	(4千円)	(6千円)	(6千円)	
		達成率(見込)	85.9%	85.9%	(85.9%)	(85.9%)	
評価	成果指標(アウトカム指標③)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)					
		達成率(見込)					
指標	活動指標(アウトプット指標①) 説明会の参加学生数	目標	100	100	100	120	150
		実績(見込)	-	173	(115)	(132)	【各年度】
		(単位当たりコスト)	-	(6千円)	(13千円)	(11千円)	
		達成率(見込)	-	173.0%	(115.0%)	(110.0%)	
指標	活動指標(アウトプット指標②) 説明会の参加病院数	目標	40	40	40	40	40
		実績(見込)	-	36	(38)	(36)	【各年度】
		(単位当たりコスト)	-	(27千円)	(38千円)	(41千円)	
		達成率(見込)	-	90.0%	(95.0%)	(90.0%)	
指標	活動指標(アウトプット指標③)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)					
		達成率(見込)					
目標	終期設定	有 ( ) .					無
	改善基準						

自己評価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況(総合的評価)
自己評価	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など	・参加学生は年々増加傾向にあり、県内の臨床研修病院と医学生のマッチング率や研修医充足率も高水準にあることから、県内の医師確保に寄与している。 ・一方、医師の地域偏在については、引き続き是正に向けて取り組む必要がある。	・県内外の医学生が県内の病院の指導医や先輩医師からの説明を効率よく聞くことができるなど満足度の高い内容となっていることから、本説明会の実施は県内の医師確保に非常に有効なものである。 ・一方、医師の地域偏在の是正に向け、説明会の開催方法等について検討が必要。
	○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫を行っているか など	・説明会時に参加病院と学生に対しアンケートを取り、アンケートの意見について翌年以降の説明会で改善させるなど、ニーズに応じた説明会運営を行っている。 ・県と参加病院との経費負担を1:1にしており、参加病院から一定金額を徴収しているが、民間事業者による同様のイベントに比べてかなり安価となっている。	

課題・今後の方向性  
 改善     他事業と統合     その他

説明 ( 医師の地域偏在の是正に重点を置き、病院と医学生のマッチングについて知見のあるコーディネーターを有する民間事業者に委託することで、医師が不足している病院と医学生のマッチング機能を強化する。 )

外部委員会意見  
 ・研修医が行ってほしい地域に行っているのかを指標化できないか検討すべきである。  
 ・研修医にその地域に勤務してもらうためには、生活情報についても見せていく必要がある。その病院で働く先輩医師に話をしてもらうほか、各市の地域おこし協力隊にもPRしてもらってはどうか。  
 ・へき地勤務を選択した人材の声を横展開することも有効ではないか。

改善結果  
 ・臨床研修だけでなく、臨床研修病院が立地する地域の生活情報および魅力を発信するための取組として、合同説明会において地域おこし協力隊のブースを設け、PR活動を実施する。また、医師不足地域の病院に関心のある医学生を募集し、病院見学ツアーを実施することで、病院と医学生とのマッチング強化  
 ・上記取組を実施した上で、医学生の医師不足地域の病院選択に関する新たな指標を検討